

「らしさ」から解放されるデザイン

仙台第三高等学校 F5班

背景

例



黒や青、シルバーなど
重みのあるデザイン



白やピンク、クリアなど
軽やかなデザイン

※イメージです

まとめ・今後の展望

デザインに関して…

字体 >> 読みやすいなどの実用性を重視した
ユニバーサルデザインフォントを使用

色 >> 男性女性関係なく使用出来て好まれる
色同士を組み合わせた際読み間違いが少ない
無彩色(モノトーン)を使用

どちらも実用性の高いものを選ぶことが「性別」という意識をなくすことができると考えた。

これらの点を踏まえた下の図の様なデザインを元に
今後アンケートを取って周りの人達からの意見も取り入れたい。

研究内容・目的

◎仮説

- ・色やフォントにより男性女性などらしさに縛られているのではないか。
- ・シンプルなもの好まれるのではないか。

◎検証

- ・色やフォントについてアンケートなどを取り、調べる。

調査・実験の結果と分析

実用性を重視することで「性別」という意識をなくすことができると思った。

フォントに関して実用性とは..

- ・文字の形がわかりやすい
- ・読みやすい
- ・誤読をしにくい →ユニバーサルデザインフォントの使用

例)

あいうえお あいうえお

色に関して実用性とは..

- ・見間違いが少ない

例)

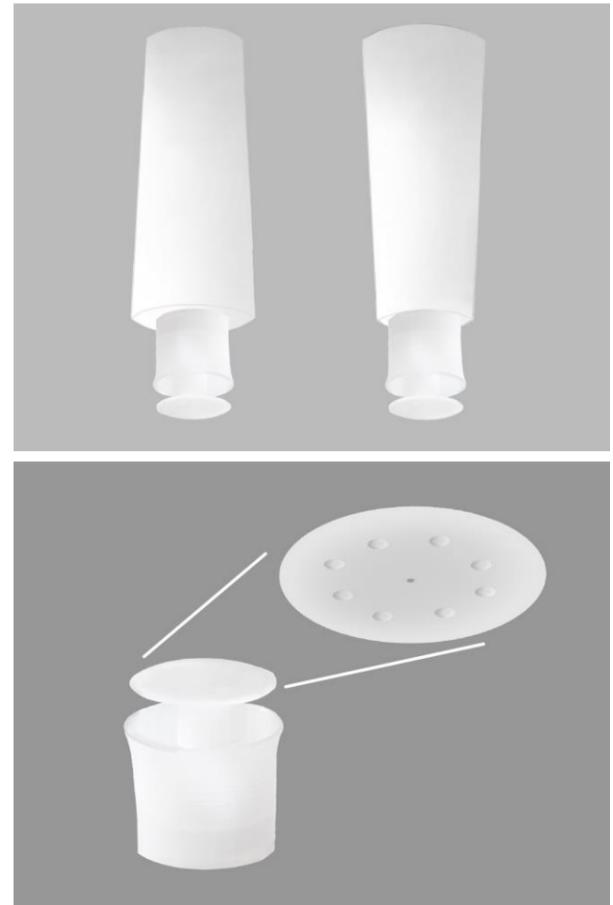
あいうえお

あいうえお

あいうえお

色同士の組み合わせによって見やすさが異なる
→白黒はどんな人でも見やすい

調査・実験の結果と分析



シャンプーボトルを例にした試作品

- ・白を基調としたボトル
- ・片手で使用出来るポンプ
- ・シャンプーとコンディショナーで容器の形を変えることで間違いを防ぐ
- ・手で触れる部分に凹凸をつける

今後は形の改良やロゴデザインなどを制作を予定

参考文献

- ・大山 正, 1962年, 色彩の心理的効果, 46巻9号, p452-458
- ・松田博子, 名取和幸, 波田野智美, 2019年, 色の好みとパーソナリティとの関係, 43巻2号, p69-
- ・大西まどか, 渡邊祐理, 宮下佳子, 鈴木理子, 小田浩一, 2010年, 既存フォントを使った読書評価実験によるフォントの読みやすさの検討, ポスター発表, 第19回視覚障害リハビリテーション研究発表大会in東海
- ・楊 寧, 須長 正治, 藤 紀里子, 伊原 久裕, 2019年, ユニバーサルデザインフォントの可読性, 65巻4号, p4_1-4_8
- ・矢口 博之, 竹下 直幸, 中本 和宏, 水野 昭, 八杉 淳一, 2016年, 数字が見やすいUDフォントと高齢者や視覚障がい者に配慮したカレンダーの開発, 21巻1号